

わが

コンパクトシティ政策を「深化」 「コンパクト&スマート」なまちづくり

豊かさあふれる
「くすりのまち」

富山市は、本州の日本海側のほぼ中央に位置する富山県の県庁所在地であり、平成17年に7市町村が合併して誕生しました。現在の本市の人口は約41万人、市域面積は1241.70km²です。

水深1000mの「海の幸の宝庫」富山湾から標高3000m級の北アルプス立山連峰まで、標高差4000mの多様な地勢と雄大な自然を誇り、また、古くから「くすりのまち」として全国にその名が知られるように、薬業をはじめとする製造業を中心にさまざまな産業と高度な都市機能を有しており、恵まれた産業基盤と都市基盤、多様な文化と歴史を併せ持つ、日本海側有数の中核都市とし

て発展してきました。

コンパクトなまちづくり

本市では、本格的な人口減少や超高齢社会の到来を見据え、将来的にも持続可能な都市構造への転換を図るため、平成15年頃から「公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくり」に取り組んできました。

具体的には、①公共交通の活性化



「コンパクトなまちづくり」の概念図

①公共交通の活性化では、全国で初めて本格的な次世代路面電車(LRT)を導入したほか、路面電車の環状線化、鉄道高架下で富山駅の南と北を走る路面電車を接続するなどの事業を行い、公共交通の利便性向上に取り組みました。②「公共交通沿線地区への居住促進」では、公共交通沿線居住人口を平成17(2005)年の28%から、令和7(2025)年には42%とする目標を掲げ、公共交通の利便性向上だけでなく沿線居住への補助制度を導入することなどにより、令和3

化、②公共交通沿線地区への居住促進、③中心市街地の活性化の3本柱の施策に取り組むことで目指す都市像の実現を図ることとしています。



富山駅南北が接続された路面電車

年6月末時点で39.9%に達するなど、順調に目標へと近づいているところでは、③「中心市街地の活性化」では、全天候型イベントスペース「グランドプラザ」の整備や路面電車走行空間のトランジットモール化などにより、郊外に流出したにぎわいがまちの中心部に少しずつ戻ってきています。

このように、本市ではコンパクトシティ政策を推進することで、目指す都市像を実現するとともに、持続可能な都市経営を行っていきたいと考えています。

コンパクトシティ政策の深化

本市のコンパクトシティ政策によって、中心市街地の魅力が高まり、人口の社会増や地価上昇による固定資産税の増収など多くの成果が表れる一方で、中山間地域をはじめとする郊外に居住する市民からは「中心部ばかりが発展している」「自分の地域では利便性を感じられない」といった声が寄せられています。

このため、本市が今まで以上に選ばれるまちになるために、地方



富山市の市街地（富山平野）

都市としては恵まれた都市基盤を生かしつつ、市民生活の質や利便性をさらに向上させ、地域特性に応じた市内全域の均衡ある発展を目指す「コンパクトシティ政策の『深化』」を図ることが必要であると考えています。

コンパクト&スマート

そこで、デジタル技術を活用して地域課題を解決し、新たな価値を創出するスマートシティ政策に本格的に取り組むこととしました。本市は、これまでも「富山市センサネットワーク」（居住人口の98・9%をカバーするセンサー網からIoTデータを取得できる環境を整備）など、先進的と言われるスマートシティ事業に取り組んできましたが、今後は市民目線で市民が求めるサービスを、そしてその効果を市民が実感できるように提供していきたいと考えています。現在、そのための指針となる「(仮称)富山市スマートシティ推進ビジョン」を策定中であり、コンパクトシティ政策を補完し、深化させるためのスマートシティ政策「コンパクト&スマート」を推進することで、市民サービス

を向上させ、コンパクトシティ政策の果実を市内全域に行き渡らせるとともに、どこに住んでいても不便さや不安を感じることはないまちにしたいと考えています。一方、基礎自治体である市町村においては、フェイストウ・フェイスの住民サービスの提供が最も

重要です。デジタル技術ツールとしたスマートシティ政策を推進するとともに、フェイストウ・フェイスによるぬくもりのある行政運営に取り組むことで、誰からも選ばれる「幸せ日本一とやま」の実現を目指してまいります。

プロフィール

- ◆ 面積 1241・70km²
- ◆ 人口 41万425人
- ◆ 世帯数 18万3893世帯

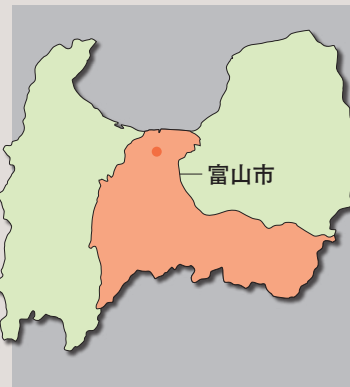
〔将来都市像〕人・まち・自然が調和する 活力都市とやま

〔まちの特徴〕富山湾から北アルプス立山連峰まで、標高差4000mの多様な地勢と雄大な自然を誇り、菓業をはじめとするさまざまな産業と、多様な文化・歴史を併せ持つまち

〔市町村合併〕平成17年4月1日に、富山市、大沢野町、大山町、八尾町、婦中町、山田村、細入村の7市町村が新設合併



富山市長
藤井裕久



〔特産品〕ます寿し、かまぼこ、コシヒカリ、呉羽梨、ホタルイカ、シロエビ、富山えごま、越中八尾和紙、ガラス工芸品、とやま土人形、啓翁桜

〔観光〕富山城址公園、富岩運河環水公園、富山市ファミリーパーク、富山市ガラス美術館、富山ガラス工房、有峰・薬師岳、神通峡、百間滑、白木峰、春日温泉郷

〔イベント〕全日本チンドンコンクール、越中八尾曳山祭り、猿倉山フェスティバル、おやおまま佐々成政戦国時代祭り、熊野神社稚児舞、おわら風の盆、富山まつり、牛岳スノーフェスタ

※面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。

わが

いのちと暮らしを守り 共に生きるまち越谷へ

未来を創る

越谷市は、埼玉県東南部にあり、東京都心まで25km圏内に位置するベッドタウンとして発展してきました。人口は約34万人、面積は60・24km²で、鉄道や幹線道路が市の南北・東西に走るアクセスに優れたまちです。地形は全体的に平たんで、自動車での生活も便利です。また、各

鉄道駅の周りには住宅地や商業地が造られている一方で、その周辺部にはのどかな田園地帯も広がっています。市の東部に



市の中心を流れる元荒川（市役所屋上から撮影）

ある一般廃棄物処理施設「東埼玉資源環境組合（リユース）」の高さ80mの展望台からは、市内の様子を一望することができ、晴れた日には東京スカイツリーや富士山も見ることができま

明るい未来に向けたまちづくり（子育てしやすいまち）



本市では、未就学児における待機児童対策の独自の取り組み

として、「こしがや『プラス保育』幼稚園事業」を実施しています。この事業は、長時間の預かり保育を行う私立幼稚園および認定こども園を、「こしがや『プラス保育』幼稚園」として認定し、保育所などの利用基準を満たすお子さんへの「プラス保育枠」として原則保護者負担なしで預かり保育を行い、保育を行った分について市が園に対し支援するものです。そのほか、子育て世帯数の増加が大きい地域における小規模保育所の整備や、民間保育園の定員増

なども含めた保育環境の整備など、さまざまな子育て支援施策を実施することにより、子育てしやすいまちづくりを行っています。

水辺を活用したまちづくり 越谷レイクタウン

河川空間の利活用について、河川をにぎわいのある場所として積極的に活用することを目的に、平成23年度に河川敷地占用許可準則が改正され、営業活動を行う民間事業者の河川敷地の利用を可能にする、いわゆる「河川空間のオープン化」が推進されております。

越谷レイクタウンの中心に位置する大相模調節池の広大な親水空間は、集客・交流の視点から大きな可能性があります。市ではこれまで、観光協会や民間事業者などと連携し、大相模調節池周辺でス



越谷レイクタウンにある広大な水辺空間

ポーツ・ランニングイベントやイルミネーションイベントを開催し、住民が参加できるようにぎわいを創出するとともに、水辺を活用して新事業を創出する社会実験を実施し、市内事業者が継続的に実施できるビジネスモデルの確立に向け、試行と検証を行ってまいりました。また、本年8月27日には、大相模調節池の水辺活用を一層推進するため、「良好な水辺空間の形成」にぎわいの創出「地域との連携による魅力の向上」などの項目について、企画段階から連携して取り組むことを内容とする基本協定を、イオンモール株式会社と締結



支援書交付式

方々が少しでもスポーツに対する興味関心を高めるため、身近な場所でトップレベルのプロスポーツを観戦できるようなスポーツ観戦機会の充



越谷アルファーズ

現在「第5次越谷市総合振興計画」において、いつでも、どこでも、誰もが生涯にわたり、スポーツ・レクリエーション活動に親しみ、自分らしく、いきいきとした、豊かな生活を送ることのできる環境の整備を目指しております。

越谷アルファーズへの支援

いたしました。河川の商業利用によりにぎわいを創出する事業では、水辺活用をきっかけとして、地域が活性化する仕組みが大切な要素と考えております。引き続き、大相模調節池の広大な親水空間を生かし、魅力あるまちづくりに取り組んでまいります。

実際に取り組んでおり、その一環として、越谷市をホームタウンとするプロバスケットボールクラブ「越谷アルファーズ」に対し、毎年支援書の交付を行っております。本市としては、越谷アルファーズのB2リーグでの活躍、さらにはB1リーグ昇格を期待しております、市の広報紙に越谷アルファーズに関する特集記事、シーズン中には試合結果や試合予定についての情報を定期的に掲載しているほか、越谷駅東口ロータリーのバスシェルター支柱への選手写真入り応援シートや、越谷駅から市役所に向かう駅前通りの街灯への応援フラッグの設置、市庁舎内へのポスター掲示および選手等身パネルの設置など、市内施設において露出を高めることで、越谷アルファーズの認知度向上、応援機運の醸成を図ってまいります。今後も越谷アルファーズと連携し、多くの子どもたちにプロスポーツの観戦機会や選手とのふれあいの場などを提供することで、子どもたちが健やかで心豊かに夢を追い続ける環境づくり、地元プロクラブへの愛着の深まりへとつなげてまいります。

関東最大級のいちご狩り 観光農園

平成27年に関東最大級のいちご狩り観光農園として、約1万90



越谷いちごタウンでのいちご狩り

00㎡の農園に8棟のビニールハウスを備えた「越谷いちごタウン」がオープンしました。ベビーカーや車いすでも摘み取りやすい高設栽培でいちごが育てられており、さまざまな品種のいちごを食べ比べて楽しむことができます。本年度には隣接地に同規模のいちご農園が開園し、さらに広く、より多くの方にお楽しみいただけるようになります。近くまでいらした際にはぜひお立ち寄りください。

プロフィール

- ◆ 面積 60・24 km²
- ◆ 人口 34万4280人
- ◆ 世帯数 16万405世帯

〔将来都市像〕水と緑と太陽に恵まれたみんなが活躍する安全・安心・共生都市

〔まちの特徴〕河川などの自然に恵まれ、日光街道第三の宿場町としても栄えた、自然と歴史が融合したまち

〔特産品〕越谷だるま、越谷ひな人形、越谷甲冑、越谷桐箱、越谷手焼きせんべい、太郎兵衛もち、越谷ねぎ、くわい、小松菜

〔観光〕越谷いちごタウン、越谷レイクタウン、花田苑（日本庭園）、コバトンの森（しらこぼと水上公園）

〔イベント〕南越谷阿波踊り、越谷花火大会、こしがや田んぼアート、元旦マラソン大会



越谷市長
福田 晃



※面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。

御殿場市ごてんば（静岡県）

御殿場市長

かつまたまさみ
勝又正美

わが

富士山の懐に抱かれた高原都市

御殿場市は、静岡県の東部、世界遺産富士山の懐に抱かれた緑豊かな高原都市で、富士山頂まで及ぶ194・90kmの市域は、市街地・山林・陸上自衛隊の東富士演習場がおおむね3分の1ずつを占めて



市内全景

おり、首都圏から約100km、車で1時間圏内という好立地にあります。

「御殿場」という地名は、江戸時代、徳川家康公がこの地に御殿の造営を命じたことに由来します。

戦中戦後を通じて秩父宮様がお住まいになり、岸信介元首相が晩年を過ごされ、映画界の巨匠黒澤明監督が別荘を構えるなど、多くの著名人に愛されてきました。

国内最大規模、約290店舗を誇る御殿場プレミアム・アウトレットや、御殿場高原ビルで有名な御殿場高原時之栖ときのすまかなどのリゾート施設が立地し、コロナ前で年間1400万人、現在は静岡市に次ぐ県内第2位の交流人口を有するなど、富士・箱根・伊豆交流圏の中心に位置する「観光ハブ都市」として発展しています。

御殿場の魅力投票2021

さまざまな魅力の再発見、地域のさらなる活性化に役立てようと、令和3年度に「御殿場の魅力」と思われる項目50点を選び、市民や市外在住者が投票する「御殿場の魅力投票」を実施しました。約1700の投票の結果、第1位は「世界に誇る富士山の絶景」でした。富士山は、今回投票者の9割以上が選んだ「御殿場の魅力」であり、シンボルです。

また、今回の投票結果で明らかになったのが「御殿場の水」の素晴らしさです。市民の投票で第3位、市外在住者で第9位にランクインしました。

本市では、富士山に降った雨や雪が地下に浸透し、自然

のろ過や浄化作用を受けながら適度のミネラルが溶け込むなど、富士山の涵養機能たんようの恩恵を存分に受けた地下水を水道水として使っています。

一般的な水と比較して、マグネシウムイオンやナトリウムイオンなどのミネラルが多く含まれているため、そのまま飲んでおいしいのはもちろん、米やわさび、ビールなど全ての食材の源となる御殿場の大きな自慢です。

今後は、この「御殿場の水」をキーワードに、産業振興、企業誘致、移住定住や子どもたちの環境教育につなげていきます。



魅力投票

「市民とともに歩む情のある御殿場」

そんな富士山の恵みに育まれる本市では、「市民とともに歩む情のある御殿場」を掲げ、各種の施策に取り組んでいます。

一つ目に、「真の子育て支援日本一」に向けた取り組みがあります。人と人が思いやる、素朴でありながらも、子どもたちの成長を親御さんや家族が温かく見守り、それを地域や社会全体がやさしく包んでいくような、温かな、情のある地域社会の中で、子どもたちが誇りに思えるまちづくりを進めています。

それが、雄大な富士山の懷に抱かれた、御殿場らしいまちづくり、人づくりにつな



木育の誕生記念品



がるとの考えの下、結婚、出産から乳幼児期を経て、小・中学校、高等学校から大学などへの進学といった各ステージにおいて、独自の取り組みを含めた切れ目のない支援を行っています。平成22年に

1・61だった合計特殊出生率は、令和2年には1・75へ飛躍的に上昇しました。

二つ目に、「環境に特化したまちづくり」です。

本市では、令和2年2月に県内自治体で初めて「ゼロカーボンシティ」を宣言し、富士山の麓から、国際社会の一員として、地球温暖化・気候変動問題を解決するための取り組みを推進しています。

再生可能エネルギーの導入やエネルギーの地産地消に関する取り組みとしては、可燃ごみ焼却時の余熱を利用して発電される電力を、全ての小中学校含む公共施設で使用し、電力のゼロカーボン化に取り組んでいます。

本年度からは、新たな施策として、御殿場の木の価値を高め、木のぬくもりを感じるまちづくり「木育」の取り組みを開始しました。御殿産の木材を使用して、赤ちゃんの名前や生年月日などとともに、手形を刻印した唯一無二の記念品を保護者に贈呈する出産祝い事業を開始するなど、CO₂吸収源ともなる富士山麓の森林保護につながる取り組みを進めています。

こうした取り組みによって、地

域の脱炭素化に向けた取り組みと経済活動が好循環する富士山麓の圏域づくり、富士山麓の森林環境の保全と環境先進地域「御殿場」のブランド化を実現し、静岡県が



豊かな森林環境

認定する「地域循環共生圏」の県内第1号認定に向けて準備を進めているところです。

今年5月には、念願のSDGs未来都市に認定されました。富士山の懷に抱かれた豊かな自然、美しい景観、おいしい水やそこに住まう人々の心の温かさ。そうした富士山の恵みを守り、育て、一層暮らしやすいまちづくりを進めています。

プロフィール

- ◆ 面積 194・90 km²
- ◆ 人口 8万5681人
- ◆ 世帯数 3万7904世帯

〔将来都市像〕緑きらきら、人いきいき、交流都市 御殿場

〔まちの特徴〕日本でも有数の名勝である富士山と箱根の間に位置する、緑豊かな自然環境に恵まれた高原都市

〔特産品〕こてんばこしひかり、そば、水かけ菜、わさび、手作りハム、金華豚



御殿場市長
勝又正美

〔観光〕富士山、御殿場プレミアム・アウトレット、御殿場高原時之栖、秩父宮記念公園、東山旧岸邸、富士山樹空の森

〔イベント〕富士山太鼓まつり、御殿場わらじ祭り、秩父宮記念富士登山駅伝競走大会、三井住友VISA太平洋マスターズ



※面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。

わが

誰かが創る宇部じゃなく、みんなで創る宇部に、ともに次の100年へ

共存同業の精神を
未来につないで

宇部市の発展の礎は、明治期以降、石炭産業の振興により築かれました。強い郷土意識、強固な共同体的精神の下、石炭で得た利益をさまざまな社会事業に投資し、地域の基盤づくりが進められ、大正10年、「村」から「市」へと市制を施行しました。以降、「共存同業・協同一致」の精神（こころ）を育みながら、地域経済の発展を遂げ、令和3年に市制施行100周年を迎えました。

次の100年に向けては、「未来の種まき」を意識しながら、成長産業の創出・育成、未来を担う子どもたちへの支援、地域資源を生かしたまちの魅力発信に取り組むこととしています。

「産学公金」の総力を結集、
成長産業を創出

瀬戸内有数の臨海工業地帯を形成している本市は、これまで培われた化学産業を基盤とした産業集積に加え、山口大学医学部や工学部などの高等教育機関、公的試験研究機関、さらには山口宇部空港が立地するなど、大きなポテンシャルを有しています。

そうした本市の強みを最大限に生かし、次代を担う成長産業の創出と育成を進めるため、令和3年5月に産学公金からなる「宇部市成長産業推進協議会」を立ち上げ、医療・健康や環境・エネルギー、宇宙産業、DXなどの次世代技術に関連する分野での起業や研究開発・事業化に向けた取り組みを積極的に支援しています。

具体的には、成長産業分野における起業や大学発ベンチャーの立ち上げを支援する全国トップレベルの支援規模（上限・1000万円）である「宇部市スタートアップ支援補助金」をはじめ、シーズの早期発掘から、研究開発の推進、起業までをシームレスに支援



東京ドーム約40個分の広さがある「ときわ公園」

する補助制度を令和4年度に創設し、衛星データを活用したインフラ監視事業を行う企業のほか、七つの研究開発プロジェクトに対する支援を行っています。

また、市民の憩いの場である「ときわ公園」では、広大な敷地を実証フィールドとして「次世代技術」「モビリティ」など、イノベーションや新たなビジネス創出に向けた実証事業「ときわ公園チャレンジ」（愛称・ときチャレ）を本年度から実施しています。この取り組みには、全国から30事業もの応募があり、現在、選定された四つの実証事業が進む中、事業者によるサテライトオフィスの設置や、学生とのコラボレーションなど、新たな成果も生まれています。



ときチャレモビリティに市長試乗

子育てするなら宇部

次世代に向けた投資として、未来のまちづくりの主役である子どもたちの健やかな育成を応援することが大変重要です。特に、子どもの将来がその生まれ育った環境に左右されることがないよう、令和3年度には、法務省の「養育費不払い解消調査研究事業」の実施自治体となり、県内で初めて設置した「ひとり親家庭等相談窓口」で、法律相談や公正証書の作成費用の補助など、養育費を取り決めるための支援を開始しました。

事業開始から令和4年8月までに、養育費を支払わない相手への強制執行に向けた弁護士による強制執行申立を5件、司法書士による強制執行資料作成を5件実施したほか、同月からは、市役所と山口家庭裁判所をオンラインでつなぎ、調停手続きなどのサポートを



「まちじゅうエヴァンゲリオン」
山口宇部空港

開始しています。

このほかにも、子ども医療費助成における所得制限撤廃や、生活困窮世帯を対象とした学習支援、空港のロケーションを生かした障害の有無に関係なく誰もが楽しめる大型遊具の設置など、「子育てするなら宇部」と全国に誇れる子育てのまちを目指し、安心して子どもを生み育てられる環境整備を進めていきます。

まちじゅうエヴァンゲリオン発動

令和3年に公開され、興行収入100億円を超える大ヒットとなった映画『シン・エヴァンゲリオン劇場版』の総監督である庵野秀明氏は本市のご出身で、「宇部ふるさと大使」にも就任いただいています。同作の中で、本市が舞台のモデルの一つとして取り上げられたことで、映画公開以降、多くのファンが本市を訪れています。

この流れをチャンスと捉え、市では、フィギュア展などの開催やスタンプリリー、グルメフェアなどを市内各所で展開するイベント「まちじゅうエヴァンゲリオン」を2度開催し、市内外からたくさんのお客さまをお迎えしました。

今後もこうしたイベントを通じて、宇部産の食材を使ったメニュー

やときわ公園、工場群の夜景など、本市ならではの魅力（観光資源）の発信と、本市の認知度の向上やにぎわいの創出にもつなげたいと考えています。

誰かが創る宇部じゃなく、みんなが創る宇部に

本市は、本年度から「共創によ

るまちづくり」をキーワードに「第五次宇部市総合計画」がスタートしました。もっと暮らしやすいまちにするために、いつか帰ってきたくなるまちにするために、「誰かが創る宇部じゃなく、みんなが創る宇部」になるよう、地域を支えるさまざまな立場の方々と力を一つに、ともに次の100年

に向かっていきたいと考えています。

プロフィール

- ◆ 面積 286.65km²
- ◆ 人口 16万838人
- ◆ 世帯数 8万90世帯

〔将来都市像〕ひとが輝き交流ひろがるわたしたちの宇部（まち）「共存同栄の精神（こころ）を未来につないで
〔まちの特徴〕市内随所に彫刻が設置され、都市と彫刻が共存する「緑と花と彫刻のまち」

〔市町村合併〕平成16年11月1日、楠町を編入合併



宇部市長
篠崎圭二



〔特産品〕ワタリガニ、活き車エビ、かまぼこ、お茶、地酒、利休まんじゅう、宇部ラーメン、赤間硯
〔観光〕ときわ公園（動物園、世界を旅する植物館、彫刻の丘、石炭記念館）、藤河内茶園、キワ・ラ・ビーチ
〔イベント〕UBEビエンナーレ（現代日本彫刻展）、宇部まつり、新川市まつり、宇部市お茶まつり、TOKIWAファンタジア

※面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。